

猫共生型賃貸リノベーション完成

ダイニチ キャットウォークなど設置

単身の賃貸住宅を猫共生型物件にリノベーションしたアパートが5月1日完成した。この新たな取り組みは、ダイニチ（千葉県浦安市）が展開するリノベーションブランド「CLASS」のコンセプトの一つ「nec

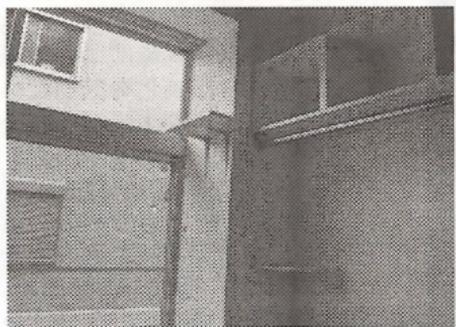


▶外観もリノベーションし、猫のロゴを入れた

ototo」だ。築20年の2階建てアパートメント全12戸を外観や共用部も含めまるごとリノベーションした。

「necototo」の特徴としては、まず、壁面には猫の爪ときに対して原状回復費用を抑える建材を採用した点。企画から携わり、物件のオーナーでもある杉浦雅弘氏は、「猫は一日数回爪ときをします。下地の上に9mの合板を貼り、その上からクロスを張り、退去時に上の部分だけをはがして取り換えられます」と話す。その他に、壁一面

◀キャットウォークも作った



に収納棚を設置。猫のキャットウォークになっており、窓際に座れるスペースも設置した。

そのほかにも細部に、猫の生活に配慮した仕掛けをちりばめた。猫専用のペットシッターにアドバースを受けながら改良

を重ねてきた。「猫用の設備だけを考えれば、今回の物件で1戸当たりの改装費用は30万円ほど」（杉浦オーナー）

賃料は6万3000〜7万円。リノベーション前よりも25%ほど高く設定した。6月から本格的に入居募集を始めた。共生型であるため、猫を飼っていることが入居条件になる。

通常のペット共生型賃貸の場合、犬が対象となっており、猫に対応する賃貸住宅は市場に少なく、潜在ニーズを掘り起こしていく。